

栄養教諭部会研究計画

I. 研究主題

主体的に生きる力を身に付け実践できる子どもの育成
～学校給食を中心とした食育の在り方～

II. 研究目的

1. 研究の経過

平成 19 年度から令和元年度までの 13 年間、「食生活の基本を通じて、積極的に健康管理を目指す子どもの育成」という研究主題の下、自ら健康管理ができる子どもの育成を目指し、学校給食を通して、各学級担任や教科担任等と連携した食に関する指導を研究し実践してきた。

近年、食を取り巻く社会環境が大きく変化し、不規則な食事や偏った栄養摂取等、子どもたちの食に関する課題が指摘されている。こうした課題に対応するため、子どもたち一人一人が生涯にわたって健康で安全な生活や健全な食生活を送るために必要な情報を自ら判断し、適切な意思決定や行動する力を育むことができるよう、令和 2 年度より新たな研究主題を設定し研究を進めている。

2. 研究主題の理由

文部科学省は、学習指導要領等の改定を踏まえ「食に関する指導の手引」を平成 31 年 3 月に改訂し、食に関する指導の基本的な考え方や指導方法、食育の評価を示した。この中では、学習指導要領における食育の位置付け・食に関する指導の目標が明示されている。食に関する指導に当たっては、生きた教材となる学校給食を活用しつつ、給食の時間を中心としながら、体育科（保健体育科）における望ましい生活習慣の育成や、家庭科（技術・家庭科）における食生活に関する指導のほか、特別活動における学級活動に加え、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間での指導等を相互に関連させ、学校教育活動全体を通じて組織的、計画的に推進することとされている。さらに、栄養教諭の専門性を生かし、教職員間の連携に努めるとともに、地域の産物を学校給食に使用する等の創意工夫を行い、学校給食の教育的効果を引き出すよう取り組むことが重要とされている。

こうしたことから、生きた教材となる学校給食を中心として、子どもたち一人一人が自ら生きる力を身に付け実践できるよう、体験活動や ICT 活動による効果的な教材や指導法の在り方を研究し、よりよい食育を進めるために、PDCA サイクルに基づいた食に関する指導についての研究を進めるとともに、これまでの実践の成果を生かし、さらに工夫を重ね、より効果的な指導となることを今年度の目標として、次の「食に関する指導目標」に沿って研究を進める。

《食に関する指導目標》

（知識・技能）

食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。

（思考力・判断力・表現力等）

食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりできる能力を養う。
(学びに向かう力・人間性等)

主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

3. 研究仮説

地域の特色を生かした教育活動の中で、学校給食を生きた教材として活用した支援の在り方を工夫することにより、主体的に生きる力を身に付け、実践できる子どもを育成することができる。

III. 研究内容

1. 子どもの食に対する関心を高める指導の在り方

- (1) 学校給食を生きた教材として活用
- (2) 教科等における食育の視点を明確にした授業づくり
- (3) 主体的・対話的な学習活動を取り入れた指導過程の工夫
- (4) 効果的な教材等の活用

2. 専門性の向上

- (1) 地域の産物を活用した、生きた教材となる献立
- (2) 一人一台端末を使った食育についての知識を深める

IV. 研究方法

1. 専門部会第二次研究協議会において研究主題にせまる研究内容や成果等を協議する。
2. 市町村研究団体のレポート交流を行い、本部会研究との関連が図られるよう推進委員と連携し、研究を進める。

V. 研究体制（組織）

1. 部会役員研修会は、部長・副部長・事務局長・事務局次長・研究員・HP担当者 各1名の計6名で構成する。
2. 推進委員研修会は、市町村研究団体の推進委員6名と副部長の計7名で構成する。

VI. 年間計画

月	研 修 会・ そ の 他	内 容
4	専門部会第一次研究協議会 役員研修会①・推進委員研修会①	研究計画の確認
5	推進委員研修会② 役員研修会②	実技研修会の計画 第二次研究協議会の内容検討
7	実技研修会 役員研修会③	実技研修会の実施 第二次研究協議会の内容検討
8	推進委員研修会③	研究まとめ、次年度の計画
9	役員研修会④ 指導案検討研修会①	第二次研究協議会の内容検討 指導案検討
10	専門部会第二次研究協議会事前研修会 専門部会第二次研究協議会	部会討議の進め方 指導案研究・実践交流
11	役員研修会⑤	『石狩の教育』の研究まとめ 今年度の反省、次年度の研究計画
1	役員研修会⑥・推進委員研修会④	研究・部会運営のまとめ 次年度計画の確認

(文責 山崎 久美子)